

1964 東京五輪の記憶遺産を未来に伝える多角的デジタルアーカイブズ

「東京五輪アーカイブ 1964-2020」公開

首都大学東京と朝日新聞社の共同研究

首都大学東京と朝日新聞社は、1964年東京五輪から50年を迎える今年、共同で報道写真アーカイブ「東京五輪アーカイブ 1964-2020」の制作をスタート、本日10月8日から公開しました。首都大学東京システムデザイン研究科の渡邊英徳研究室渡邊研究室のホームページや朝日新聞デジタルの特設ウェブサイトからご覧いただけます。

64年大会当時に朝日新聞社が撮影した5千枚超のストックから厳選した写真を、デジタル地球儀「Google Earth」の三次元地形や建物モデルに重ね、この半世紀における日本人の暮らしや東京の街並みの変遷を可視化し、今に伝えます。「ヒロシマ・アーカイブ」(2011年7月発表)、「東日本大震災アーカイブ」(2011年11月発表)など、渡邊研究室が制作した「多角的デジタルアーカイブズ・シリーズ」の技術を応用、過去記事や東京都公文書館など公的機関の資料も駆使し、日本中が興奮した50年前の遠い記憶と、高度経済成長の懐かしい槌音を未来に届けるプロジェクトです。

このプロジェクトでは、ユーザー参加型のアーカイブを志向しています。たとえば、高校生や大学生の有志を募り、当時の代表選手や関係者へのインタビュー取材を依頼し出稿してもらうなど、世代を越えた記憶の継承に取り組みます。また、「五輪」をテーマにした「調べ学習」の授業の成果を、楽しいコンテンツに仕立ててアーカイブに掲載し、研究発表の場として活用することもできます。2020年大会にまつわる最新情報も織り交ぜつつ、今後6年の歳月をかけながら、アーカイブは進化しつづけます。

■ 「東京五輪アーカイブ 1964-2020」 URL: <http://www.asahi.com/special/tokyo1964/>



【お問合せ先】

- 首都大学東京 システムデザイン研究科 インダストリアルアート学域
渡邊 英徳 [TEL:090-9835-2695](tel:090-9835-2695) MAIL:hwtnv@tmu.ac.jp
- 朝日新聞社 データベース事業部内 「朝日新聞フォトアーカイブ」
[TEL:03-5541-8138](tel:03-5541-8138) MAIL:gorin-p@asahi.com

参考資料



日本代表選手たちの活躍



高度経済成長期の風景



全国を走り抜けた聖火ランナーたちの軌跡



東京都のオリンピック広報誌など、当時の資料群



高校生有志による川淵三郎・川口衛氏インタビュー

「東京五輪アーカイブ 1964-2020」掲載資料(2014年10月8日時点)

- 写真約200点、過去記事約50点（朝日新聞社）
- 東京都広報資料約50点（東京都公文書館）
- 関係者インタビュー2点（工学院大学附属高等学校有志）

注）資料は随時更新されていきます。

「東京五輪アーカイブ 1964-2020」制作チーム

- 渡邊英徳，井口香穂，木村汐里，佐野大河，長濱啓輔（首都大学東京）
- 朝日新聞フォトアーカイブ
- 有山裕美子，櫻坂誠，石橋樹，岩澤佳生，菅野友彦（工学院大学附属高等学校）

首都大学東京「渡邊英徳研究室」について

渡邊英徳研究室＋ネットワークデザインスタジオでは、情報デザイン、ネットワークデザイン、Webアートの研究を行っています。これまでに発表した作品は、2013年度グッドデザイン賞、第40回「日本賞」、アルスエレクトロニカ2013、第13回、14回文化庁メディア芸術祭で受賞するなど、国内外で高い評価を受けています。

ウェブサイト：<http://labo.wtnv.jp/>

朝日新聞フォトアーカイブ について

朝日新聞社が所蔵する約2千万点の写真コンテンツのデジタル化を急ピッチで進めています。現在約2百万件の写真のデジタル化を終え、日本有数の報道写真アーカイブとなっています。

1964年の東京五輪関係では、当時撮影された五輪の競技写真に加え、生活風俗、街の移り変わりなど、多角的な報道写真約5千点をデジタル化。聖火リレーの写真は、全都道府県をくまなく網羅しており、東京五輪アーカイブでも紹介しています。

みなさまに写真を広くご活用いただくため、専用Webサイトを作成し、デジタル化した写真を紹介しています。

ウェブサイト：<http://photoarchives.asahi.com/>